

低温肥大性に優れ、ビッグベイン病に強く、 球揃いも抜群！

予告品種

WN-LL133

品種登録出願中

出願品種名:WN-LL133

出願番号:登録出願中

海外持出禁止(農林水産大臣公示有)

※この品種は品種登録出願中です。出願中の種苗を、育成者権者の許諾なくして業として利用(増殖、譲渡、輸出入など)する行為は、損害賠償、刑事罰の対象となる場合があります。

レタス



開発コンセプト

西南暖地で栽培の多い厳寒期どりのトンネル栽培レタスでは低温期の肥大伸長性・トンネル内の蒸しこみによる変形・ビッグベイン病等の病害の発生が問題となります。弊社ではこれらの課題に対応するために「WN-LL133」を育成しました。

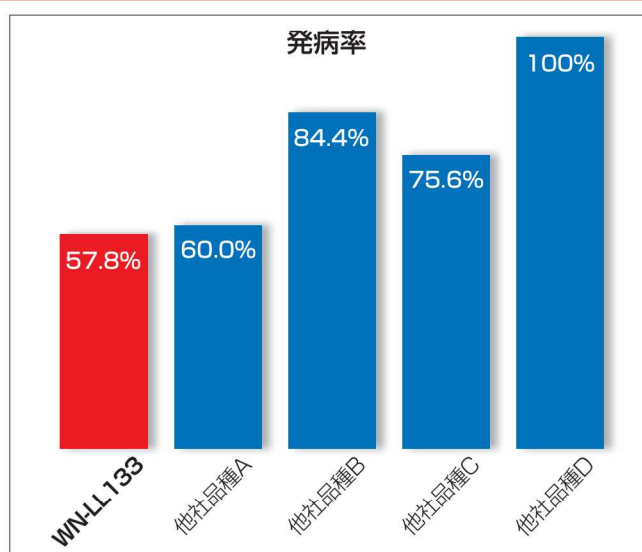
品種特性

- ① 厳寒期栽培や痩せた土地の栽培でも、安定した肥力を発揮する。
- ② ビッグベイン病に強い。
- ③ 扁平になりにくく、豊円球でボリュームがある。

栽培上のポイント

- ① 初期生育時の乾燥は形状の乱れにつながるため、定植時は十分に土壤水分を確保する。
- ② 吸肥力がある品種でボリュームが出るので、多肥条件ではタコ足球の原因になるため、過度な施肥は控える。

ビッグベイン病 耐病性試験 (2020~21年 弊社研究農場にて実施)



接種試験において、「WN-LL133」は耐病性品種の中でも発生率が低い結果となっており、同病害の発生圃場でも栽培しやすい品種となっています。

ビッグベイン病

レタスビッグベイン病は日本国内でも多く発生している土壌伝染性のウイルス病で、ウイルスに感染した葉脈が太くなる症状により結球阻害や品質低下につながります。



「WN-LL133」



他社品種

ビッグベイン病の発生がない「WN-LL133」とビッグベイン病の発生した他社品種

2022年シーズンの試作結果について

2022年シーズン、関東以西の産地にて試作を行いました。結果は概ね良好で、特徴である低温肥大性が抜群で、球形が乱れずにきれいな豊円球に仕上がる点など高い評価を頂きました。

試作初年度ということもあり、いずれの地域も試作継続・拡大試作を行う予定です。

2023年シーズンでは、貴産地でも試作をお願いいたします。

①静岡県吉田町



[WN-LL133]



[WN-LL133]

他社品種

播種:2022年10月15日

定植:2022年11月11日

撮影:2023年2月9日

評価

低温期でも肥大力があり豊円球でボリュームがある。肥大力が高く、減肥栽培の適性も期待できる。

②香川県



[WN-LL133]



他社品種A



他社品種B

播種:2022年10月16日

定植:2022年11月10日

撮影:2023年2月21日

評価

厳寒期どりの品種としては、肥大力があり、球も丸くきれいに揃っており、合格点。次年度は、より多くの方に試作してもらい、評価を確認するとともに、ビッグベイン病の強さも確認したい。

③熊本県上天草市



厳寒期に肥大力を発揮する[WN-LL133]



[WN-LL133]

他社品種

播種:2022年10月11日

定植:2022年11月1日

撮影:2023年1月26日

評価

低温伸長性があり、厳寒期のボリューム確保に期待が持てる。2023年シーズンも11月上～中旬定植で継続試験を行う予定。

【作型表・栽培の目安】

地域	9	10	11	12	1	2	3
暖地	●	○	○	○	○	○	○

● 播種期 --- 育苗 ○ 定植 — 生育 ■ 収穫 ○ トンネル